

ビーフライ（ヒロズキンバエ） を利用しませんか？

導入実績のある品目

いちご・マンゴー・アボカド等の生産、
玉ねぎ等の種子生産



ミツバチと比較した特性

低温等の環境の 影響を受けにくい

10～35℃（ミツバチ：15～25℃）で活動します。また、活動に紫外線を必要としないため、**曇天・雨天時**や**紫外線カットフィルムを展張したハウス**でも活動します。

毒針がなく、 人を刺しません

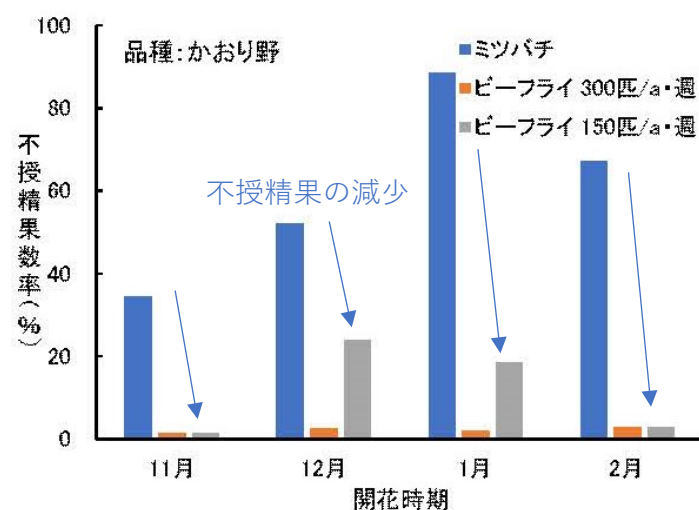
人を刺すことがなく、観光農園等では、ハチ毒アレルギーを持っている方も安心して楽しんだり、栽培管理を行うことができます。

飼養管理の 省力化が可能

巣箱の管理や給餌、水・温度管理の必要がないため、その分を**栽培管理の時間に充てることができます**。

（留意点）

・ミツバチに影響のない農薬（スピノエース顆粒水和剤、ディアナSC、合成ピレスロイド剤等）にも注意が必要。



図：施設でのいちご栽培におけるビーフライの単独利用が不授精果（奇形果）発生に及ぼす影響

栽培施設の大きさは約1.5aで、ミツバチの巣箱を1つ使用。
ビーフライ300匹/a・週：単独利用
ビーフライ150匹/a・週：ミツバチとの併用
奈良農研セ、2016-2017年

ビーフライの単独利用・ ミツバチとの併用により、収量向上!!

「ハエ」は、自然生態系の中では花粉を運び、受粉の手助けをしており、例えば、**露地栽培の梨**では、ミツバチのほかに**ハエ類も受粉に役立っている**ことが知られています。

施設でのいちご栽培では、ビーフライを活用することで不授精果の割合が減少し、**収量向上**につなげることができます。

（左図）

なお、施設園芸の受粉用として用いられるビーフライは、**医療用として生産工場にて増殖されているもの**を活用しているので清潔かつ安定的な生産がされています。

使用方法等の詳細は
農林水産省HP「花粉交配用昆虫について」



ビーフライ（ヒロズキンバエ）利用チェックリスト

1. ビーフライの導入前まで

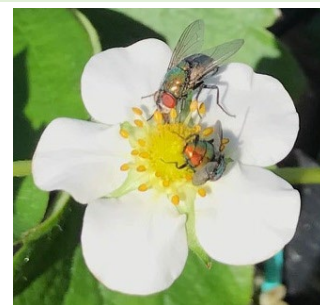
- ☐ 利用希望があれば「ビーフライ利用マニュアル」や、販売事業者聞くなどして、**使用方法等を確認**しましょう。
- ☐ 利用希望があれば**早めに納期を確認**しましょう。
販売店は右のQRコードからご確認ください。
- ☐ **冬季は「ビーフライヤー（羽化促進装置）の準備**しましょう。
販売店は右のQRコードからご確認ください。
- ☐ 逃亡防止のために施設開口部に**3～4mm以下のネット**を展張しましょう。



農林水産省HP
「花粉交配用昆虫について」

2. ビーフライの導入時

- ☐ **適切な温度管理**をしましょう。活動温度帯は、10～35℃です。
- ☐ ビーフライの成虫の**寿命は、約2週間**です。スポット的な利用を除いて、7～10日ごとに新しい蛹を導入しましょう。
- ☐ **適切な数を導入**しましょう。
ミツバチと併用利用する場合は、150匹/a
単独利用する場合は、300匹/aです。
- ☐ 蛹が入ったパック等を吊り下げたり、**高い台の上に設置**しましょう。
徘徊性のクモやアリに食害される恐れがあります。



いちごの花に
訪花するビーフライ

3. ビーフライの導入後

- ☐ 使用される**農薬**がビーフライに与える**影響**を調べましょう。
 - ☐ スピノエース顆粒水和剤、ディアナSCは、散布後3週間以上、成虫に影響します。
 - ☐ 合成ピレスロイド剤は、成虫に対して高い殺虫効果を示します。
 - ☐ ネオニコチノイド剤、ウララDF、チェス顆粒水和剤、アフーム乳剤、ハチハチフロアブルは、成虫に直接かかると寿命が短くなります。
 - ☐ 殺虫くん煙剤は成虫に対する影響が大きく、アルバリン粒剤も成虫生存率を低下させます。
 - ☐ うどんこ病防除で用いられる硫黄のくん煙剤は、羽化と羽化後の活動に悪影響を与えません。
- ☐ **栽培施設内は清潔に**保ちましょう。
果実の残渣や動物の死骸等があると、訪花しにくくなります。